

令和5年11月10日  
(2023年)

第三学年保護者の皆様へ

吹田市立第三中学校  
校長 和田幸洋

## 令和5年度 全国学力学習状況調査の分析について

本年度、3年生を対象として「令和5年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と数学と英語に限られます。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にしていただきますようお願いいたします。

### 1. 教科に関する調査結果の分析

#### 国語

##### 《結果の概要》

- 学習指導要領に示されている「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」に基づき、全体を視野に入れながら出題されていた。
- 「知識及び技能」の領域では、「情報の扱いに関する事項」の問題は全国値をやや上回った。「我が国の言語文化に関する事項」の問題は全国値をやや下回った。
- 「思考力、判断力、表現力等」の領域では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の問題で全国値を下回った。
- 選択式の問題は、無回答率はほぼ0%であったが、記述式の問題になると、全国値をやや上回った。

##### 《課題と今後の取組》

- 「知識及び技能」の領域では、漢字を正しく書くことや語句の意味の理解に課題があるので、語彙を増やしていくことが必要である。
- 「書くこと」の領域では、資料から必要な情報を引用し、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。また、自分の考えを書くことはできるが、自分の経験や知識に触れながら書くことに課題がある。「読むこと」の領域では、場面

の展開や登場人物の心情を読み取る、内容の解釈はできている。

- 記述式の問題の無解答率が高かったことから、自分の考えや、自らの体験を表現していく指導が必要であると考え。自分の考えをもつためには、普段の授業から、自分が理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりすることが必要であるので、そのような活動を取り入れていく。また、自分の考えを相手に伝えることができるように、目的や意図に応じて読みやすく分かりやすい文章を書く活動を取り入れていく。

#### 数学

##### 《結果の概要》

- 調査の内容としては、学習指導要領における、「数と式」が5問、「図形」が3問、「関数」が4問、「資料の整理」が3問と各領域についてバランスよく出題されていた。
- 「関数」の領域では、ほぼすべての問題で全国値を下回ったが、比例定数に関する正誤問題では、全国値を上回った。
- 「数と式」の領域では、自然数を選択する問題や文字を使った証明の問題で、全国値を下回った。
- 「データの活用」の領域では、すべての問題で全国値を下回った。
- 「図形」の領域では、ほぼすべての問題で全国値を下回ったが、平面決定の問題では、全国値をやや上回った。
- 無回答率はほぼすべての問題で全国値を上回った。
- 記述式の問題の正答率は、全国値を下回った。

##### 《課題と今後の取組》

- 基本となる計算や図形の性質の部分の学習が不十分な生徒が多いため、授業内で復習等を行うことで基礎固めを図る。
- 全国の正答率をほとんどの問題で下回っているが、特に筋道を立てて説明したり、証明したりする問題は正答率が低い。そのため、証明方法などを復習し、論理的に説明する力を育む。
- 無回答率も非常に高いため、机間指導などで授業内の演習でも無回答を防いでいく。

#### 英語

##### 《結果の概要》

- 調査の内容としては、学習指導要領における、「聞くこと」が6問、「読むこと」が6問、「聞くこと」が5問と各技能についてバランスよく出題されていた。
- 「聞くこと」においては、すべての問題で全国値を下回った。
- 「読むこと」においては、ほぼすべての問題で全国値を下回ったが、社会的な話題について短い文章の要点を捉える問題では、全国値をやや上回った。

- ・「書くこと」においては、無回答率が全国値を上回った。

### 《課題と今後の取組》

- 短い文章の情報は処理できるが、文章が長くなると難しい。まとまりのある長い文章の読解に慣れるために、授業内で読解練習を行うことで、読解力を養う。
- 特に、自分の考えを表現する問題において、無回答率が高かった。学んだ語彙や表現を使って、英文を話したり、書く時間を授業の中で多く取り入れていく。

## 英語（話すこと）

### 《結果の概要》

- ・調査の内容としては、学習指導要領における、「話すこと（やり取り）」が5問、「話すこと（発表）」が1問、出題されていた。
- ・未来表現を用いたやり取りに関する問題は、全国値をやや上回った。
- ・社会的な話題に関して考えや理由を述べる問題は、全国値をやや下回った。

### 《課題と今後の取組》

- 話の流れをくみ取れず、無回答率も多く見られた。
- 自分の考えや意見を表現することを苦手とする生徒が多い。そのため、授業の中で、日常的な話題や社会的な話題に関して、自分の考えなどを表現する機会を多く設ける。

## 「生徒質問紙」に関する調査の結果

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査である。質問は全部で72問であったが、ここでは特徴的な結果が出た質問に関してのみ取り上げている。

### 《基本的な生活習慣》

- ・「就寝時刻がいつも同じであるか」「起床時間がいつも同じであるか」という質問においては、全国値を上回った。
- ・「朝食を毎日食べていますか」という質問においては、全国値を下回った。

### 《家庭学習等》

- ・「学校の授業時間以外に、普段どれくらいの時間勉強していますか」という質問においては、2時間以上と回答している生徒の割合は全国値をやや上回っており、1時間より少ないと回答している生徒の割合は全国値を上回っている。

### 《学校生活・学校での学習状況》

- ・「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対する肯定的回答率は全国値をやや上回っている。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対する肯定的回答率は全国値をやや上回っている。「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」との認識が一層高まるよう、道徳の授業やトリプルチェンジ（いじめ予防授業）を通して、相手の立場に立って考えることを一緒に考えていく。
- ・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」に対する「当てはまる」と答えた生徒は全国地よりも上回っている。現在、総合的な学習の時間では「キャリア学習」を中心に取り組みを進めている。今後も生徒が主体的に学習に取り組めるように、活動を継続していきたい。

### 《自尊心》

- ・「自分には、よいところがあると思いますか」に対する肯定的回答率は全国値をやや下回っている。学校と家庭が連携し、子どもたちの自己肯定感を高めるために、日常生活の中で、自己有用感を感じることができる機会をより多く持たせたい。
- ・「将来の夢や目標を持っていますか」に対する肯定的回答率は全国値とほぼ同じである。

## 2. 今後の取組みについて

今回の調査によって判明した課題点は、本校の教育活動全体の工夫・改善に大いに参考となる資料ととらえ活用いたします。そして、「学習する喜びと意欲を養い、確かな基礎学力をもった生徒を育てる」という本校の重点目標の推進に生かすよう取り組みを進めてまいります。

ご家庭におかれましても、学習活動の基盤となる基本的な生活習慣(早寝・早起き、規則正しい食生活、家庭学習の定着など)の確立やお子さまの成長にとって不可欠なさまざまな生活体験を通して、「生きる力」を育んでいただきますようお願いいたします。今後も家庭と学校と密接に連携を図りながら、教育活動を進めていきたいと思っておりますので、ご理解ご協力よろしくお願いいたします。